

当局側が税理士の排除を暗に要求

札幌市内で洋食店「コノヨシ」を経営する古野生真（このせいま）社長が8月、国家賠償訴訟を札幌地裁に提起した。

原告は「コノヨシ」を運営するF A R E A S T E A

T I N G 社（以下F社）などに対し、札幌国税局が不当な課税を強行しようとし、損害を被ったと主張している。古野氏の自宅などに突然、税務署の調査官がやってきたのは昨年11月初旬の朝だった。

札幌市で人気洋食店を営む経営者が、札幌国税局を相手に国賠訴訟を提起した。税務調査において脅迫的な言動や、違法性の疑いがある行いがあったという。国を相手に裁判で闘うのは決して容易ではない。なぜ決断したのか。

札幌の洋食店

不当課税

疑惑

第2弾



札幌国税局が入る第2合同庁舎

F社は売り上げの一部を除外していた。税務署側は3月31日、F社の代表取締役に對し、法人に對する2種類の追徴税額（①約1億7700万円、②約8200万円）を提示し、修正申告を勧奨したが、税務署側は②で修正申告書の下書きを作成し、当時の顧問税理士に交付していた。②が事実上の最終案だったようである。

ところが、担当税理士を別の税理士事務所・インパクトに交代したいとF社側が伝えると、交代するならば税額が多い①の内容になる

と暗に、インパクトの排除を税務署側は要求した。インパクトの代表社員の大箸直彦税理士が資料を精査すると、売上除外していたお金から支出した経費が、領収書や関係書類を提出しているにもかかわらず、なんと反映されていないことが判明する。

売上除外分はほぼすべてが、古野社長の認定賞与（事実上の報酬、役員への賞与は経費ではない）と見なされていた。そのため法人税に加えて代表者個人の所得税が課税されていた。また、コノヨシと一緒に立ち上げたパートナーYさんが個人経営する店についても、法人に帰属するとして強引な課税処理をしていた。

そのため大箸税理士は再三申し入れを行い、上申書も提出したが、税務当局側は事実上、無視をした。6月29日、F社は税

「コノヨシ」社長が激白 だから私は、国税と闘った

額約1600万円の修正申告を行うも、この内容を一切検討をせずに税務署側は同日、税額約6600万円の更正を通知する。

租税法律主義の下、税務調査や課税手続きには、全国的に統一した厳格なルールがある。修正申告した内容を検討せずに、更正を通知するのは明らかにルール違反だ。

そもそも、3月31日に事実上の最終案として税務当局が提示した追徴税額は約8200万円。それが更正通知では約6600万円まで減額となっている。このことから、当初の処理のいい加減さがわかる。

F社は現在、国賠訴訟とは別に不服申立も行っている。

古野社長に話を聞いた。

——今回の件まで、税務調査を受けたことは。

古野 今回が初めてでし

た。すぐに当時の担当税理士に相談しました。

——売上金の一部を除外していたそうですね。それはいつバレたのですか。

古野 担当税理士にそのことをすぐに明かしました。レジはソフトを使っており、クラウドでつながっています。税務署がデータを調べれば、すぐに数字が合わないことはわかるでしょう。事務所に来た調査官には「反省して払うべき税金は払い、しっかりとやるようにします」と話しました。

——なぜ売上金の一部を除外したのですか。

古野 現金を手元に持つておきたいと考えたからです。物件をおさえたりする時、一定のお金が急に必要になったりするからです。

仕入れや工事でも、すぐに現金で代金を支払う形にすると安くなりやすい。現金払いを好む取引先もいます。

——普通に、会社の銀行口座に入れておけばいいのでは。

古野 多額の現金を下ろすと金融機関が理由を聞いてくる場合もあり、一定の現金を手元におき、すぐに動かすほうが手取り早いと考えました。

コロナ禍の時はどの飲食店も大変でした。何か起きた時のために手元に現金を持つておかないと、という思いもありました。

創業パートナーを守りたいから……

——いつから売上金の一部を除外するようになった。

古野 店が複数になった9年ぐらい前です。先輩経営者から「現金を手元に置いておかないと困るぞ」といったアドバイスも受け、そうしていました。

——売上金から除外したお金は、自分の遊興費など

に使っていませんか。

古野 いいえ、会社のお金として使っていました。使い道もきちんと記録していたので、そこから出した経費の関係書類を税務署に提出しています。

——今回の税務調査のもう1点のポイントについてうかがいます。一緒に創業したパートナーのYさんの店が、法人に帰属すると見なされたと聞きました。

古野 税務署側は同じ店名だし、一緒に始めた仲間なのだから、グループ内の店でしょう。ただ、Yさんが個人で営業許可を取った店で、Yさんはうちの役員でもありません。

——税務署から誘導されたとも聞きました。

古野 2つの案がありましたが、グループ会社にテロワールがあるのですが、A案はF A R E A S T E A T I N G、テロワール、Yさんのそれぞれに店が帰属す

る場合の課税。B案は、F A R E A S T E A T I N G にYさんのお店が帰属し、テロワールは別というもの。実質的にはYさんの店は法人に帰属していないので、A案が正しいのですが、それだとYさん個人に何千万円もの多額の税金が発生する可能性があり、「Yさんの自宅も差し押さえられる」と言われました。

Yさんは一緒に頑張ってきた友人でありパートナーで買った家でお子さんと暮らしています。そんな彼を窮地に追い込むのは……。それならYさんを守るためにも、B案を呑むしかないと思います。

実は、当時の担当税理士から「未払い額が多額だから、あなたは逮捕されるかもしれない」とも私は言われていました。そうになったら私は身動きできなくなり、会社はつぶれ、従業員を路頭に迷わす

かもしれない。ここは税務署の言う通りにしたほうがいいかもしれない、とも思っていました。

——Yさんを守りたいと。
古野 実態とは違うけれど、Yさんの店も法人帰属という形にして私が責任を負えばいいと。私がおし逮捕されても、一緒にやってきたYさんがいれば店もなんとかなる、とも考えました。

——ただ、最終的には税務当局に対してきちっと主張をし、現在は不服申立を行っていきます。なにがきっかけに。

古野 今の担当税理士・大箸さんと出会ったからです。知人の紹介で相談を依頼し、資料を見てもらうとすぐに、大箸税理士はおかしい部分がある、と根拠も含めて示しました。

——4月に大箸税理士は札幌国税局に上申書を提出し、改善を求めています。

古野 それでも調査はひどかった。私たちが提出した資料をまったく無視するのです。

ある時、事務所に来た調査官に聞いたら、こう言いました。「もらったファイルには資料が入っていない」と。

——もし中身がなかったのなら「資料を出して」と古野さんに要求すればいいだけでは。元本かコピーがあるのですから。

古野 前の担当税理士事務所が提出しており、きちんと預かり証もあります。提出したものが「ない」とはどういうことなのか、と思いました。

裁判で不当性が認められるか否か

——6月29日に1600万円で修正申告をした直後の同日、更正の通知を受けます。修正申告の内容を検

討しないのはルール違反とかがいました。

古野 ええ、更正の通知を持ってきた調査官に「今日、修正申告を出しました」と言うと、「同日だから更正通知を渡す。受け取りのサインをして」と。

大箸税理士にも連絡し、「修正申告が出されたのを知っているにもかかわらず無視をしたら違反になる」と告げたのですが、それでも通知を置いていきました。

個人的には、上から現場に圧力がかかっているのかもしれないと思っています。

——なぜですか。
古野 こんなことがあったんです。6月下旬、大箸税理士が、提出資料が反映

されていない理由を聞くために税務署に行っています。その直後、私に連絡が入り、税務署側から「なぜあなたは来なかったのか」と。

私は大箸税理士とまず数字の部分の話をしてもらい、

その後のタイミングで思っていたので、そう伝えると「こちらはあなたにも来てほしかった。大箸税理士を通じて、そう伝えていたはずです。それを無視したと理解していいですね」と。

「税務調査に応じていないわけではない。修正申告を提出させてほしいだけ」と反論したのですが……今、振り返ると、更正を打つためのアリバイ作りではないでしょうか。

——訴訟を起こすことをいつから考えてましたか。
古野 大箸税理士が札幌国税局に上申書を出した後、なんにも相手が動かないので、それならと。

私が売上金の一部を除外していたことは事実ですし、反省しています。本当に申し訳ございませんでした。今回の件を真摯に受け止めています。

ただ、税務調査を透明性をもって進め、きちんとして

た数字を出してほしい。
——裁判について周囲の反応は。

古野 先輩経営者らからは、国に歯向かうといろいろやられるかもしれないよ、とも言われました。

でも、こんなに加減な税務調査がまかり通っているのでしょうか。誰かが声を上げるべきだと。そして、この経験の後輩経営者にも伝えようと考えました。

国賠訴訟なので賠償金を請求してはいるが、最大のポイントは「裁判の事実認定において不当性、不適切な部分が認められるか否か」(原告代理人弁護士)

なぜなら、本誌10月号で大箸税理士が語っていたように、不当な課税の強行や不適切な手続きが札幌国税局の管轄下で相次いでいる可能性が高いからだ。この裁判の事実認定が持つ意味は大きい。(野口)